



種を播いたら、芽が出るまでは絶対に乾かないように注意します。ニンジンやダイコン、タマネギのような暑い時期に播かなければいけない種の場合は特にこまめに水やりをしましょう。

また、植物活力剤や特殊肥料の力を借りるのも手です。家庭菜園では「リキダス」「菌の黒汁」「ソイルサプリエキス」がおすすめです。発根を促し、丈夫にすることで暑さを乗り切ろうというわけです。基本的に水で薄めて水やりのように株もとに撒きます。「リキダス」は微量元素入りの植物活力剤です。植え付け時は100倍、生育期には100倍で使います。200倍にして葉面散布もできます。「菌の黒汁」は液体の堆肥で、土中の微生物を増やすのが得意です。土づくりの時から栽培料です。生育中に200倍以上に薄めて使用します。葉面散布には500倍以上にして使います。いずれもグリーンファーム店でお買い求めください。

なお、気温が下がり日差しが落ちてきたり、日除けは外してお田様によく当ります。害虫が心配なら白い防虫ネットに掛け替えましょう。

A 回答

Q 野沢菜の葉に黄色い斑点がたくさん出ている(10月)



野沢菜の葉に黄色い斑点がたくさん出ている(10月)

わからなすこと、不安なことなどありましたら、気軽にグリーンファームの営農相談員にご相談ください



ほうさくClub! くらぶ



第
281回
今月は

よくある質問

グリーンファーム中央店には営農相談員があり、家庭菜園や直売所出荷の方の栽培や防除、施肥、土づくりなど、あらゆる農業の相談に対応できるようにしています。毎日たくさんの方が相談に訪れます。今回はその中から今年よく相談された質問とその回答を紹介します。



A 回答

Q 暑すぎて植えられない(6~9月)

今年は6月下旬から10月中旬まで平年より高い気温でした。8月3日には過去最高の39°Cを記録。厳しい残暑も長く続きました。日差しが非常に強いため苗を植えてもすぐに葉が焼かれて枯れてしまったり、種を播いて水をやってもすぐ乾いてしまって発芽にくかったり、芽は出ても強い日差しに焼かれたり、非常に栽培しにくい状態でした。9月中旬になつても30°Cを超える日がありました。が、キャベツやハクサイ、ブロッコリーなど葉洋菜の苗は、上田地域では標高の低いところであつても9月上旬までに植えないと、結球しない、あるいは花芽が付かないなどの可能性が高くなります。つまり、涼しくなるのを待つから植えると、収穫ができないまま冬になってしまいます。対策は「日除けをする」「地温を下げる」「乾燥させない」ことです。

日除け対策には黒い寒冷紗や黒い防虫ネットをトンネルにして使います。白よりも遮光率が高い黒が良いです。日差しを遮れば地温も上がりにくくなります。一層地温を下げるには、マルチも白色になります。黒マルチを使う場合は、黒色が



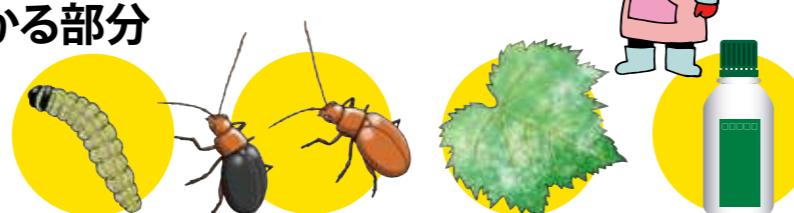
対策としては、風通しを良くしておくこと、「ボルダー」など登録のある殺菌剤を

わからなすこと、不安なことなどありましたら、気軽にグリーンファームの営農相談員にご相談ください



●農業相談にお越しの際は、ぜひお持ちください。

- 病斑や虫食い痕などがわかる部分
- 害虫と疑わしい虫
- 枯らしたい草
- ご自宅にある農薬のリスト



※難しいようなら写真でも構いませんが、確認したい部分が写っていないことがあります。

●おススメの薬剤はグリーンファーム店でお問い合わせください。栽培規模や条件に合わせた薬剤をアドバイスします。



マルチは白、
防虫ネットは黒
がおすすめ!

見えなくなるまで厚くワラを敷きます。
マルチを張る前には土が湿つていいことが大事です。じょうろで水を撒いたくらいでは表面が少し濡れる程度です。雨の後に張るのがベスト。地中までしっかりと湿っていることを確認しましょう。